

熊本市現代美術館では、アートユニット・トーチカ(ナガタケシ、モンノカヅエ)の展覧会「ReBuild」と、ワークショップ「PIKAPIKA IN KUMAMOTO」を実施いたします。トーチカは、デジタルカメラによる長時間露出とコマ撮りアニメの手法を融合し、空中にペンライトの光でアニメーションを描くという画期的な作風「PIKAPIKA」を生み出したことで知られます。

この「ReBuild」展は、2011年3月11日に起きた東日本大震災をひとつの大きな軸としています。トーチカは、震災直後、いち早く映像ディレクターの関根光才とともに、「Safe and Sound Project」を立ち上げ、世界中からPIKAPIKAによる被災地へ向けたメッセージを集め、菅野よう子の楽曲「きみでいて ぶじでいて」にのせて公開しました。

その後、被災地の子ども達に楽しい「光」の思い出を作るためのワークショップを行い、また、亡くなった命や思い出の風景の前に、弔いと希望の意味を込めて、PIKAPIKAを描く映像作品「ReBuild」を新たに制作しました。

あの時、感じた思いを忘れないために、アートができること。その可能性をトーチカはPIKAPIKAの光によってずっと照らし出そうとしています。

(熊本市現代美術館学芸員・坂本顕子)

期日:2011年7月23日(土)~9月11日(日) 場所:熊本市現代美術館・ギャラリーⅢ(GⅢ) 入場無料 | GⅢ-Vol.79

ReBuild

展覧会



Safe and Sound Project 2011

「3月11日に悲しみを背負った、全ての人に。この音楽、映像、ウェブサイトは、それら全ての人々の心に、少しでも明かりを灯せたらと考え、制作されました。どうか、今後いかなることにともくじげずに、被災者の人々が勇気をもって未来を歩いていけることを願って。そして、この悲劇が、我々全てにとって、より良い世界、生き方、共存と思いやりの精神を目指すきっかけとなることを願って」(プロジェクトステートメントより)

トーチカ アーティストトーク 7月24日(日)14:00~ ホームギャラリー 入場無料

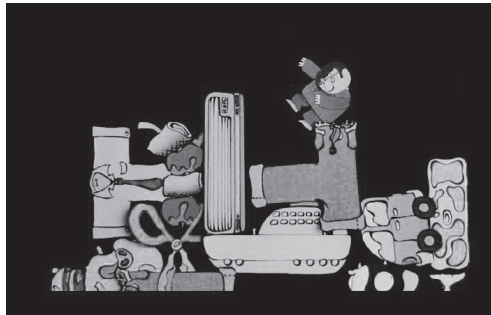


Art Inclusion in 長町 2011

仙台市最大の仮設住宅建設地で行われた震災復興イベントで行ったワークショップ。余震におびえ夜や闇を怖がることもが少しでも減るように実施された。

ReBuild 2011

2011年5月、6月、7月と東北地方の取材やボランティアを通じて制作された作品。石巻や東松島で撮影された。



Build 2001

神戸21世紀震災復興記念事業「居留地映画館」のために制作したインスタレーション作品。芸術と計画会議(C.A.P)所蔵。



ワークショップ

PIKAPIKA IN KUMAMOTO

トーチカの二人と一緒に、私たちの住む街・熊本をPIKAPIKAでPRする作品をつくります。撮影された作品は、ホームページや商店街など色々なところで上映されます。

8/7(日) 9:00集合~12:00

集合場所:熊本城二の丸公園・県立美術館前

8/21(日) 9:00集合~12:00

集合場所:熊本城天守閣前広場
(入場料は各自お支払いください)

《用意するもの》.....

黒っぽい服上下、帽子、水筒。
※もってきたい人はサングラスと手鏡
料金: 無料(予約制)

熊本市現代美術館 096-278-7500

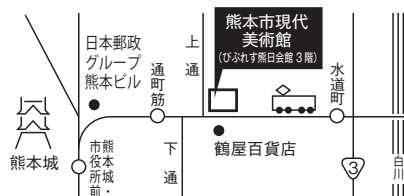
熊本各地でのPIKAPIKA撮影情報、随時発信中!
PIKAPIKA撮影に参加してみたいボランティアも大募集!
トーチカ展覧会特設ブログ <http://camk.glide.co.jp/blog/>
トーチカ twitter [@Takeshi_TOCHKA](https://twitter.com/Takeshi_TOCHKA)



トーチカ

TOCHKA (ナガタケシ・モンノカヅエ)

ナガタケシ(熊本県出身)と、モンノカヅエ(大阪府出身)によるクリエイティブユニット。マルチメディアグランプリCG部門ベストシングル賞受賞、仏アヌシー国際アニメーション映画祭ノミネート他の賞歴をもち、その他、実験的手法を用いた作風のアニメーション、グラフィック、イラストなどで幅広く活躍している。主な展覧会や作品に、金沢21世紀美術館「金沢アートプラットフォーム」、「あいちトリエンナーレ2010」、「UNIQLO JAPAN EXHIBITION」などがある。奈良県在住。<http://tochka.jp/>



熊本市現代美術館 Contemporary Art Museum Kumamoto

美術館入口(びふれす熊日会館3階)までは、通町筋電停又はバス停から徒歩1分です。電車通り側歩道から、エスカレーター又はエレベーターをご利用ください。「びふれす熊日会館」の駐車場は、数に限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。